

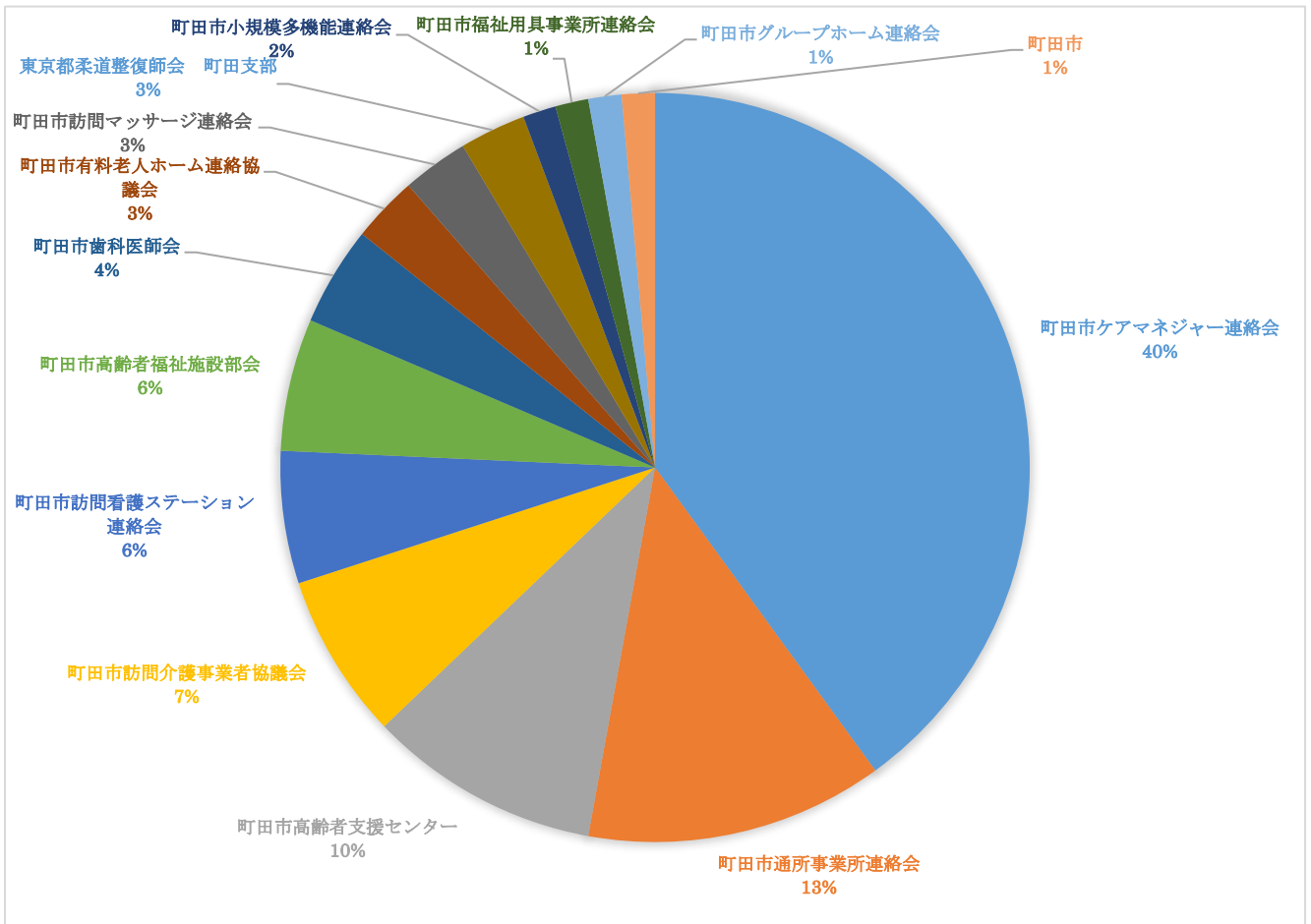
町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト（町プロ）多職種連携ツールアンケート

全ての職種（医師会、ソーシャルワーカー連絡会以外）の方にお聞きします。

●ご所属の団体についてお答えください。

- ・町田市歯科医師会・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・町田市訪問看護ステーション連絡会・・・・・・ 4
- ・町田市グループホーム連絡会・・・・・・・・・・ 1
- ・町田市ケアマネジャー連絡会・・・・・・・・・・ 28
- ・町田市通所事業所連絡会・・・・・・・・・・・・ 9
- ・町田市訪問介護事業者協議会・・・・・・・・・・ 5
- ・町田市小規模多機能連絡会・・・・・・・・・・・・ 1
- ・町田市福祉用具事業所連絡会・・・・・・・・・・ 1
- ・町田市有料老人ホーム連絡協議会・・・・・・・・ 2
- ・町田市高齢者福祉施設部会・・・・・・・・・・・・ 4
- ・町田市訪問マッサージ連絡会・・・・・・・・・・ 2
- ・東京都柔道整復師会町田支部・・・・・・・・・・ 2
- ・町田市高齢者支援センター・・・・・・・・・・・・ 7
- ・町田市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

計 71件



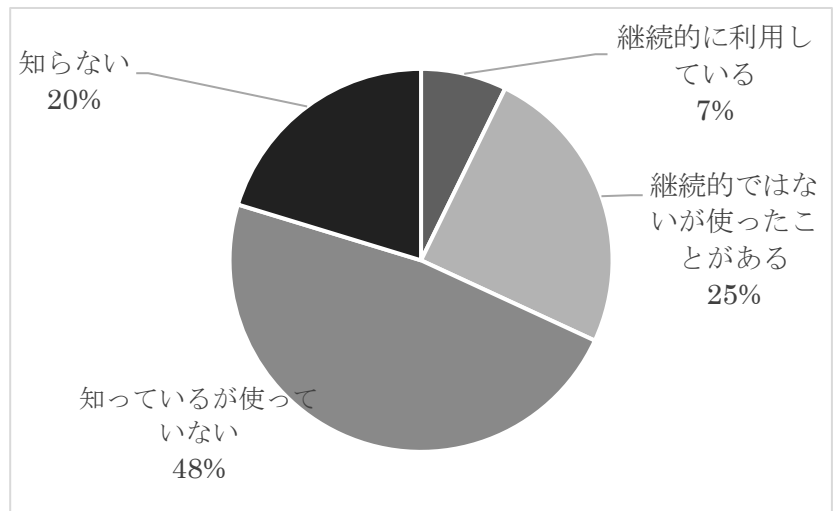
全ての職種（医師会、ソーシャルワーカー連絡会を除く）の方にお聞きします。

1. 「医療と介護の資源マップ」についてお聞きします。

医療と介護の資源マップは町田市内の医療・介護サービスの資源情報をまとめた地図です。2020年4月に公開しました。<https://machidapi.com/machipro-map/>

① 利用状況について教えてください。

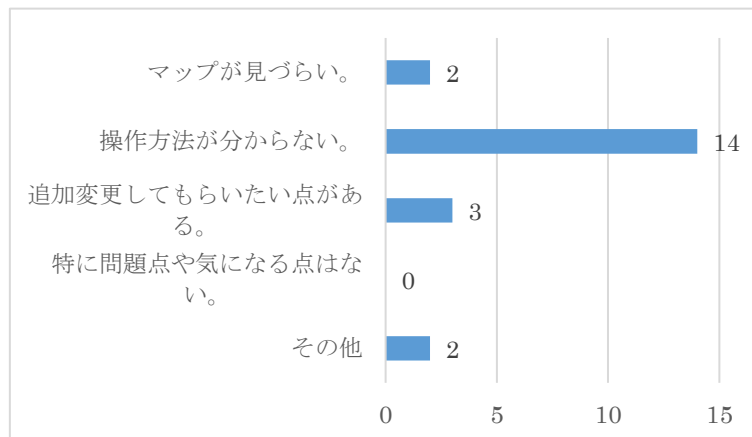
- 継続的に利用している・・・ 5
- 継続的ではないが使ったことがある・・・ 17
- 知っているが使ってない・・・ 33
- 知らない・・・ 14



②①にて「継続的に利用している」もしくは「継続的ではないが使ったことがある」を選択した方にお聞きします。

(1) 使用上の問題点・気になる点はありますか。(複数回答)

- マップが見づらい。・・・ 2
- 操作方法がわからない。・・・ 14
- 追加変更してもらいたい点がある。(2)にお書きください)・・・ 3
- 特に問題点や気になる点はない。・・・ 0
- その他(選択肢にない場合は、どのようなことか内容を簡単にお書きください。)・・・ 2



(2) 使用上の改善点・要望はありますか。

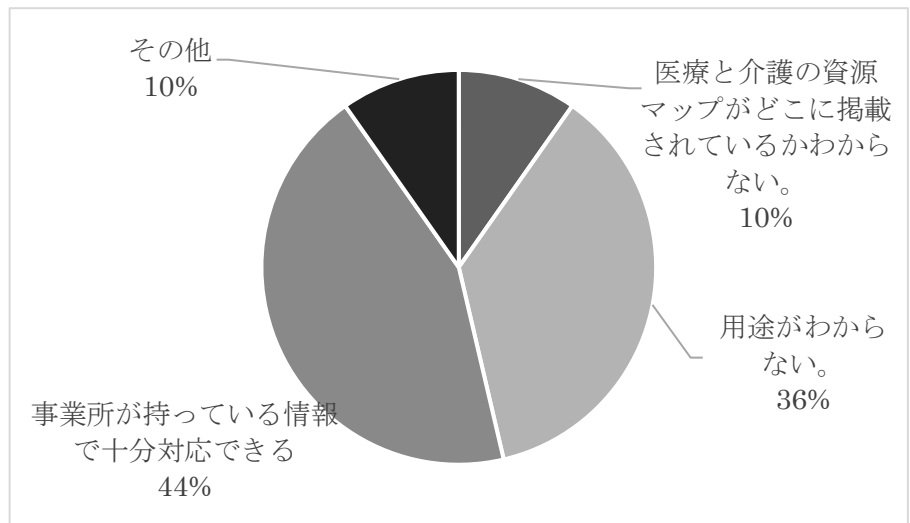
ご意見 4件

- ・通所介護と小規模多機能、柔道整復師が同じカテゴリーに入っているため、それぞれ分けると、使い手は便利だと思います。
- ・例えば居宅介護支援事業所の場合は、在籍ケアマネジャー数、受入れ可能数などの記載があるとよいと思います。ホームページがない事業所もあり、あっても更新に手間取ることも多いため、地図上でクリックした画面で多くの情報を簡潔に記載(閲覧)できると、より便利と思います。記載事項は十分な検討が必要です。更新方法もなるべく簡便な方法であると助かります。
- ・正直、Googleで検索してしまいます。
- ・検索条件を細かくできるとよい(医療機関でも診療科ごとなど)

③①にて「知っているが使っていない」を選択した方にお聞きします。

(1) 使っていないのは、どのような理由からですか。(複数回答)

- 医療と介護の資源マップがどこに掲載されているかわからない。・・・ 4
- 用途がわからない。・・・ 15
- 事業所が持っている情報で十分対応できる・・・ 18
- その他(選択肢にない場合は、理由を簡単にお書きください。)・・・ 4



ご意見 2件

- ・資源としての存在の有無だけでなく、質など中身に関する生の情報も合わせて参考にするため、マップよりも専門職の最新の意見を参考にすることが多い。医療と介護の資源マップがどこに掲載されているかわからない
- ・病院を探すのは医師会のHPが確実。介護サービスなどは主に介護サービスを使うことを考えている住民の方が知らないので、マップを参考にするのではないか。

④医療と介護の資源マップを普及させるには、どうしたらよいと思いますか(自由記入)

また、その他、ご意見等がございましたら、お書きください。

ご意見 34件

- ・町田市の HP トップページ上段の、医療・福祉 をタップすると町プロポータルサイトもしくは医療と介護の資源マップ のリンク先が表示されると普及につながると思います。
- ・誰がどのようなシーンで使っているのか、想像がつかないため、それらを明確にすべきと思う。
- ・具体的な活用法の提示、意義の説明
- ・ケアマネ連絡会や地域ケア推進会議等で情報提供
- ・タイムリーな情報更新と、マップ上でクリックした後に表示されるページの記載内容の充実が必要だと思います。記載内容は事業者だけではなく、地域の方の意見も取り入れられるとなおよいと思います。検討の話し合いができる場合は、地域の方や実際に要介護認定を受けている方にも入っていただくとより実用的で、普及できる内容になるのではないのでしょうか。
- ・どのように閲覧するか・いつ閲覧するとよいかわかりやすいといいなと思います。
- ・活用方法を紹介してほしい。
- ・インフォーマルの情報をいれてほしい。
- ・メール等にリンクを付ける
- ・一般の方が市役所のホームページで町プロの所から情報が得られることをあまり知られていないのでは。ホームページからダイレクトに簡単に飛べる目立つバナーがあればよいのではアクセスしやすく目立つことが大切だと思う。
- ・情報配信に限ると思います。
- ・内科・整形外科・精神科等それぞれの科でみられると使いやすい
- ・まだ、多くには認知されていないようなので何かに紐付けるなどで知ってもらう。
- ・一般的な内容は他の検索で十分。事業所ごとのもっと詳しい情報があれば検索するかも
- ・ケアマネ連絡会での周知
- ・QR コード作成し、各事業所の玄関などに掲示。市民へ向けてアピールする。
- ・利用方法を広く知ってもらう
- ・使用している方の事例があるとイメージが付きやすいと思う
- ・特養への問い合わせへの対応となりますので これまで マップをもちいてご説明する機会はなかった。今後 ご相談の状況によっては使用することもあるかもしれません
- ・ブラウザで市内の事業所が検索された際に、このマップが上位に表示されるとわかりやすいと思います。
- ・活用できるようもっと知らせてほしい
- ・各連絡会で普及に関しての話し合いをしてもらい、それぞれの連絡会にて周知活動を行う。
- ・経験の浅いケアマネジャーにとっては大きな情報源だと思う。周知方法と更新頻度、情報へのアクセスが容易になれば良いと思います。
- ・町田市が作成を検討している資源マップとの連動、困りごと別検索機能、内容・料金等比較一覧の出力機能などあるとよい
- ・医療は医師会のホームページでよい 介護は支援センターの情報冊子でよい 情報提供が沢山ありすぎる 統一してもよいと思います。
- ・説明会、相談員連絡会、ケアマネカフェ等で共有
- ・どのようになったら普及とするのが難しいですが、表示回数を定期的に計測することで、まずは表示回数の経過をみてるのはいかがでしょうか？
- ・各連絡会の研修などで定期的に周知する。
- ・資源マップは他にもいろいろあるため、他市のように社会資源等のマップと合わせて別サイトで作成、市の HP にリンクするなど誰でもみるサイトからアクセスできるとよいのではないのでしょうか。
- ・町プロ 協議会のサイトを通さず直接アクセスできる仕組み→検索ですぐ引っかかるようにする

- ・ポスター等、該当する行政施設で告知するなど
- ・情報の信頼性を高める。できる限り最新情報になるよう更新する。(閉鎖になった事業所が半年以上、掲載されている)市民向け広報誌で案内する。
- ・周知活動
- ・各連絡会や様々なところでPRを増やしていく

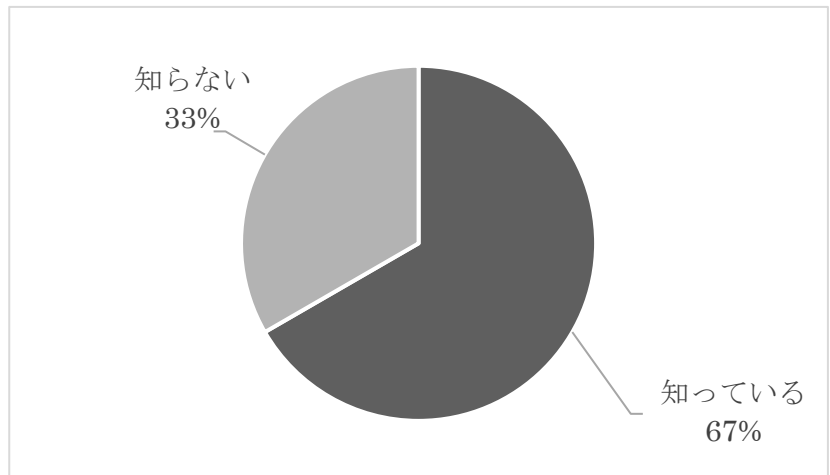
2. 「町プロオリジナルお薬手帳カバー」についてお聞きします。

町プロオリジナルお薬手帳カバーは在宅高齢者と医療機関、薬局、ケアマネジャー、ホームヘルパー、訪問リハビリテーション等の専門職間の「連絡帳」として、お薬手帳をより使いやすくするために作成したカバーです。在宅高齢者を支える上で、日常の気づいたことなどをお薬手帳に記載することで多職種間の情報共有を行うことができます。



① 「町プロオリジナルお薬手帳カバー」を知っていますか。

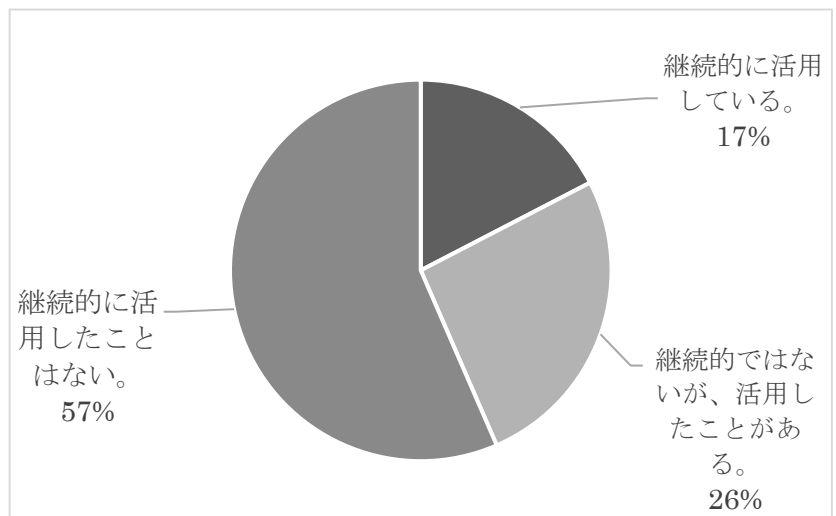
- 知っている・・・46
- 知らない・・・23



② ①にて「知っている」と選択した方にお聞きします。

(1) お薬手帳カバーを多職種間の連携に活用していますか。

- 継続的に活用している・・・8
- 継続的ではないが、活用したことがある・・・12
- 連携に活用したことはない・・・27



(2) (1)にて「継続的に活用している」もしくは「継続的ではないが、活用したことがある」を選択した方にお聞きします。お薬手帳カバーを活用し、どのような連携を行ったのかお答えください。

ご意見 16件

- ・初回訪問時、カバー所持がない方に渡し、ケアマネジャーの名刺とあわせての管理を説明する程度に留まっています。
- ・利用者に配布した。ケアマネの名刺をいれてもらう。
- ・ご利用者・ご家族に手渡し使ってもらっている。
- ・連携は行っていない
- ・独居高齢者へ配布し、通院時に使用して頂いた
- ・薬局にケアマネの名刺が入っている事を認知してもらう。
- ・緊急時、救急隊の方へお渡ししています。
- ・要支援の方に手渡し 体調確認を行った
- ・お薬手帳の管理が不十分だった方が、カバーに保険証なども一緒に保管することができ、スムーズな医療受診につながっている。
- ・ケアマネジャーの名刺及びメモを挟み、受診時・入院時等の主治医等への伝達
- ・利用者が病院に持っていき転倒 その際病院から連絡があった
- ・ケアマネの名刺を入れてもらっている。入院時など医療機関で分かるように。
- ・直接連携に繋がったケースはない。
- ・直接的なものではありませんが、活用することで本人・関係者にとっても医療情報がわかりやすくなった
- ・ケアマネの名刺を入れていただき、入院の際に見せてもらうよう利用者へ伝えている程度
- ・安心キーホルダー番号を記入し、お薬手帳を入れて使用。保険証類、お薬手帳、診察券、CMの名刺を入れて活用してもらった。

(3) (1)にて「継続的に活用している」もしくは「継続的ではないが、活用したことがある」を選択した方にお聞きします。連携した医療機関・介護サービスをお答えください。

回答 8件

- ・医療機関(入院、通院とも)
- ・すずき脳神経外科
- ・主に薬局さんやケアマネが役立っている。
- ・病院・診療所・薬局
- ・川村内科クリニック、南第3高齢者支援センター
- ・入院先医療機関
- ・直接的な連携ではありませんが、本人が利用している医療機関・介護サービスすべて
- ・病院、デイサービス

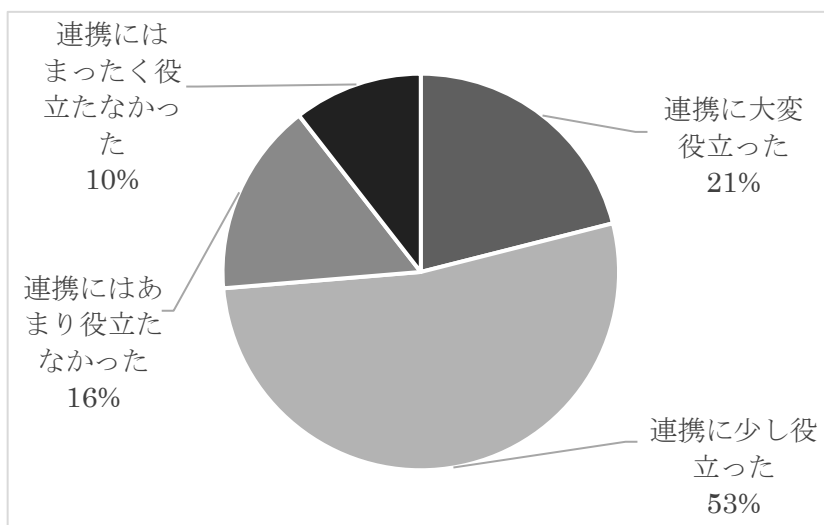
(4) 同じく、(1)にて「継続的に活用している」もしくは「継続的ではないが、活用したことがある」を選択した方にお聞きします。お薬手帳カバーを活用した狙いを教えてください。

回答 14 件

- ・保険証をよく紛失させる方に有効的である
- ・ご高齢の方でなくとも、使用しやすいデザインということがポイントです。ご高齢の方も特別視せずご利用いただけます。
- ・診察券の整理と紛失防止。
- ・診察券がたくさん入れられる
- ・何か変化があった時などの情報提供・連携。
- ・利用者の保険証やお薬手帳の一体化
- ・しばらく会っていなかったので 会える機会を持つことができた
- ・保険証などを紛失しやすい方への管理方法の提案
- ・お客様が持参・提出する可能性が高いため
- ・お薬情報 介護保険証 診察券等が入っている 情報がわかりやすい
- ・市民への医療と介護の連携の必要性の啓発。
- ・医療情報、関係者情報が整理できる
- ・診察券や連携機関の名刺などを入れることができる為、入院時などに連携しやすいと思う。
- ・大切なカード類が失くならないようまとめて、病院や薬局に持っていってもらう。担当 CM がいることを知らせ、何か問題があれば連絡頂けるようにした。

(5) (1)にて「継続的に活用している」もしくは「継続的ではないが、活用したことがある」を選択した方にお聞きします。活用した結果、多職種連携に役立った度合いを教えてください。

- 連携に大変役立った・・・・・・・・ 4
- 連携に少し役立った・・・・・・・・ 10
- 連携にはあまり役立たなかった・・・ 3
- 連携には全く役立たなかった・・・・ 2





② 改善点やご意見があれば教えてください。

回答 14 件

- ・先月、支援センターに協力いただいて拝見することができました。実際の利用者さんで、このお薬カバーを使用している人は、お目にかかったことはありません。
- ・配って使っていただく事かと思います。
- ・配布する対象者が絞られているので活用しづらい
- ・高齢者の方々が在宅生活を末永く過ごせるよう多職種の連携が重要と考えます。情報共有が図れるよう仕組み作りを希望します。
- ・緊急医療情報キットなどと一緒に活用できる部分があればいいと思います。
- ・素材が強度がないのもうすこししっかりしてるとよい。
- ・薄くてすぐに破れてしまいそう
- ・広く知ってもら
- ・現段階 特養での使用必要性は見られない。
- ・すでに個人で所有している方が多く配布を希望されない。
- ・各薬局にて、お薬手帳発行時に手帳をカバーに納めてお渡しすることを徹底してはどうか
- ・お薬手帳カバーを持っている方がいないので、持っている方がもっと増えることで目にする機会が増え、連携ツールとして意識することに繋がると思います。
- ・そもそも普及がされていない。多くの利用者様や高齢者に関わっているが持っていたり 知っている人がいない。
- ・認知症の方は、あちこちに保険証や診察券を入れてしまうので、まとめて管理でき、良かった。

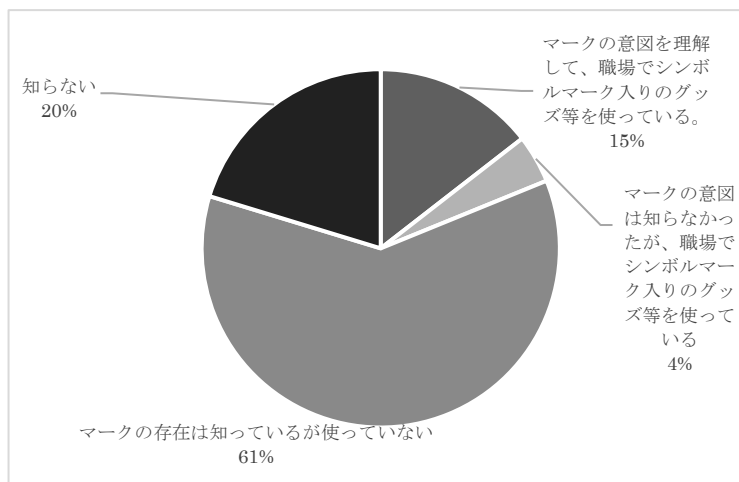
3. 「シンボルマーク」についてお聞きします。

町プロに参画する事業者の連携を強化するとともに、町プロの取り組みをより多くの方々に知っていただくために作成したシンボルマークです。シンボルマークには、「自身が住み慣れた町で安心して暮らせるように、町全体でその人の心を包み込めるように…」との思いが込められています。



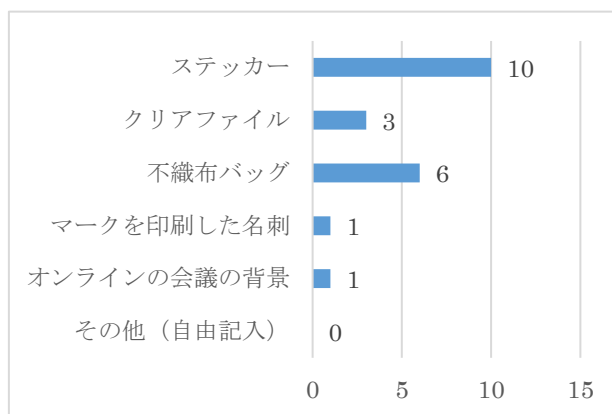
① 使用状況について教えてください。

- マークの意図を理解して、職場でシンボルマーク入りのグッズ等を使っている・・・ 10
- マークの意図は知らなかったが、職場でシンボルマーク入りのグッズ等を使っている・・・ 3
- マークの存在は知っているが使っていない・・・ 42
- 知らない・・・ 14



② 「職場でシンボルマーク入りのグッズ等を使っている」を選択した方にお聞きします。以下のどのようなものにシンボルマークを使用したことがありますか。(複数回答)

- ステッカー・・・ 10
- クリアファイル・・・ 3
- 不織布バッグ・・・ 6
- マークを印刷した名刺・・・ 1
- オンライン会議の背景・・・ 1
- その他（自由記入）・・・ 0



② 改善点やより良い活用案があれば教えてください。

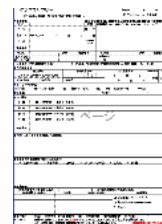
ご意見 14件

- ステッカーを事業所の送迎車に貼っていますが、傷んできました。追加で必要の時は、どこに相談すれば良いのでしょうか？
- イベントをすることで周知されてくるのではないのでしょうか
- お薬手帳カバー同様、多世代で使用できるよいデザインだと思います。
- もっと活用方法を検討していきたいです。
- 町プロの存在の本来の在り方をアピールして周知を図った方が良いのでは、町プロの存在自体が特別な位置にあって一般の事業所の一段上にあつて特別な存在となっている印象があります。本来であれば市内の各事象所の連携のしやすさ、業務が円滑になされことを目的とした存在であるとは思われますが、実際にはカーストの上位の方々の会議を見させていただいているような(極端な言い方ですみません) その様な印象が否めません。協議会も介護業界が発表する事にお医者様が物申すみたいなのが強く印象に残り見えてドキドキしてしまうこともあります(身の縮む感じ) 又、町田市主催の地域ケア会議としての形があまり見えてきません。一体どういう位置づけなのかなって考えてしまうこともあります。三師会と専門職団体の連携会議には見えますが、「市主催の医療介護連携の地域ケア会議」 そうなのかな？って疑問に思っています。シンボルマークはかわいらしくとても良いものが出来ているとは思われますが、各職能の連絡会自体が町プロで話し合われていることを各会員に周知する仕組みはあるのでしょうか。そこが整うともっと良い活用案が出てくるのでは。
- シンボルマークが入ったグッズを知らない。
- 思い浮かばない
- 広く知ってもらおう
- 中長期的に使用することで、市民の方にも知っていただけたらと思いますので、町プロでのイベントで継続的な周知を続けていくことが大切かと思ひます。
- シンボルマークにあまり必要性を感じない。
- 市民向け研修等も開催されていますのでマーク入りのグッズを作って配布を通じて知ってもらえるといいかと思ひます。
- ツールがあれば色々活用したいがツールの入手先がわからない
- グッズはあまり持っていないと思う。会員が 1 人一点ずつくらい活用することでまちプロの活動を意識できると良い
- 周知不足

4 番以降の質問は、ケアマネジャー連絡会、小規模多機能連絡会、リハビリテーション連絡会、高齢者福祉施設部会、グループホーム連絡会、有料老人ホーム連絡協議会、高齢者支援センター所属の皆様に対してお聞きします。それ以外の団体に所属の皆様は 3 番で終了となります。

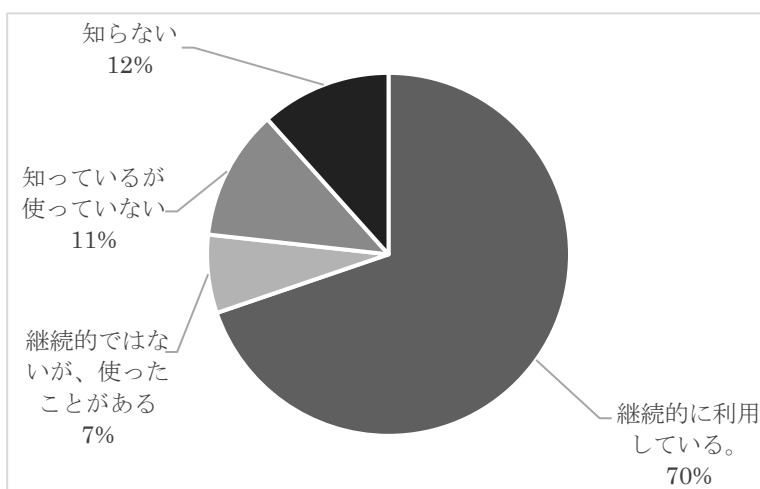
4. 「ケアマネサマリー（町田市入院時・外来受診時情報提供書）」についてお聞きします。

ケアマネサマリーは入院時や外来受診時に、ケアマネジャー等が医療機関に対し利用者に関する情報を提供するために使用する町田市専用の様式です。



① 使用状況について教えてください。

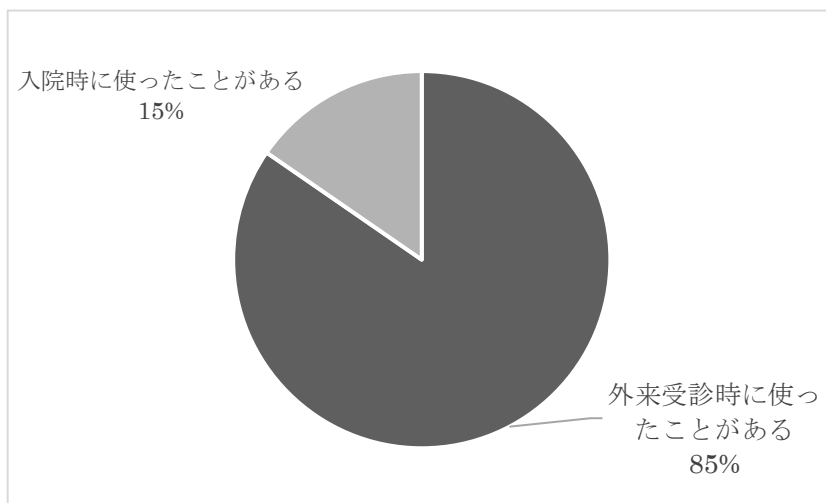
- 継続的に利用している・・・・・・・・・・ 30
- 継続的ではないが使ったことがある・・・・ 3
- 知っているが使っていない・・・・・・・・ 5
- 知らない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5



②①にて「継続的に利用している」もしくは「継続的ではないが使ったことがある」を選択した方にお聞きします。

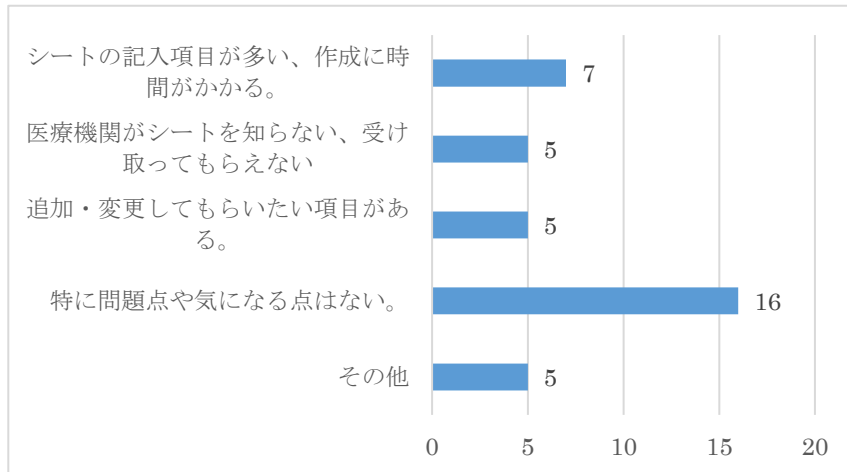
(1) どのような時に使いましたか（複数回答）

- 入院時に使ったことがある・・・・・・・・ 6
- 外来受診時に使ったことがある・・・・ 33



(2) 使用上の問題点・気になる点がありますか（複数回答）

- シートの記入項目が多い、作成に時間がかかる。・・・ 7
- 医療機関がシートを知らない、受け取ってもらえない。・・・ 5
- 追加・変更してもらいたい項目がある。(② (3) にお書きください)・・・ 5
- 特に問題点や気になる点はない。・・・ 16
- その他（選択肢にない場合は、どのようなことか簡単にお書きください。）・・・ 5



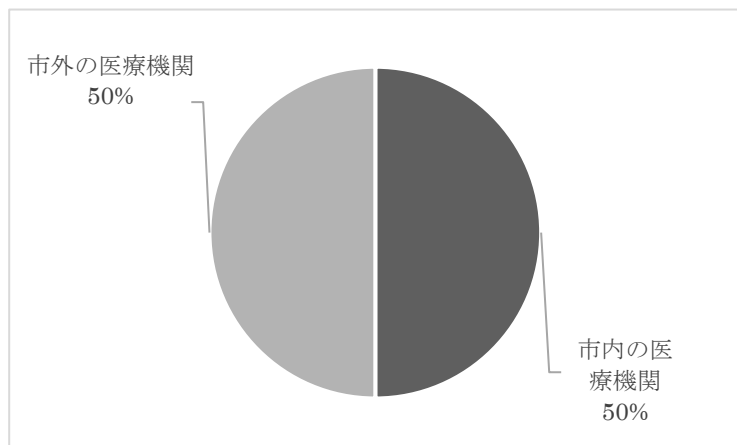
ご意見6件

- ・ご家族の希望が病状が分からない段階では書きにくい
- ・病院からのレスポンスがない。
- ・利用しているシステムに入院時情報提供書がある そちらを利用することが多い
- ・市外の病院に受け取ってもらう前に電話をしたら、面倒そうに対応され、必要のない書類と思われたのではないかと思います。
- ・ファックス送信時、名刺添付が出来ないので、判子等で対応できるとよい。日常生活自立度は不要ではないか。むしろ、認知症状のことや住環境(団地、戸建、EV ありなし、階段ありなしなど)記入する欄がほしい。

(3) (2) で「医療機関がシートを知らない、受け取ってもらえない。」と回答した方にお聞きします。

その医療機関は市内の医療機関ですか、市外の医療機関ですか。

- 市内の医療機関・・・ 6
- 市外の医療機関・・・ 6



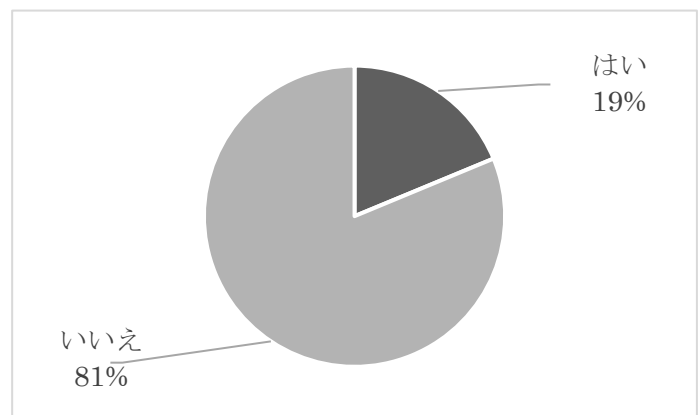
(4) 使用上の改善点・要望はありますか（自由記入）

ご意見10件

- ・虐待事案や経済状況、退院後の意向など、要点を簡潔に記載するよう努めていますが、特記事項欄をもう少し広げていただきたい。多くのご利用者で本欄が非常に重要な記載事項となっています。服薬状況の管理確認欄が少しわかりにくく、記載時悩みます。
- ・町田市以外の病院でも周知して欲しい
- ・内容が薄い。
- ・もう少し記入欄が大きいほうが書きやすい。
- ・リ・アセスメントシートと連携したデータを作って頂けないでしょうか？（名前や年齢の入力を少しでも省けたら良いと思います。）
- ・入院までの経過やご家族との関係性などをもう少し記入できる欄があるといいと思う。
- ・前述、他帳票との一体化
- ・ADLの項目が少ないと思います。
- ・細かくて書きにくかった、対象者の全体像が分かるような内容だとよいと感じた
- ・医療系サービス利用時にケアプランを提出する際にわざわざケアマネサマリーを添付したことはない。

(5) ケアマネサマリーについて、医療機関からご意見・ご要望等ありましたか。

- はい・・・ 6
- いいえ・・・ 26



(6) (5) 「はい」を選択した方にお聞きします  
どのようなご意見・ご要望がありましたか

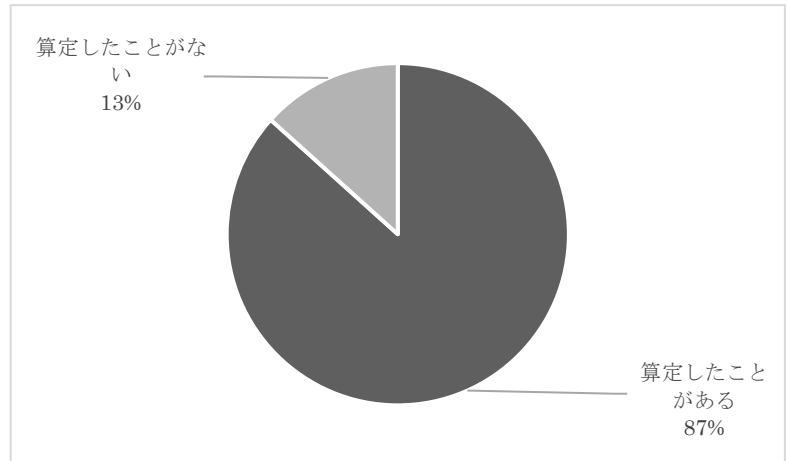
回答6件

- ・緊急時に入院した際、「早急にください」と要望を受けた。
- ・ご意見とありますが、「提出いただいております」という前向きな連絡をいただくことが多いです。
- ・記載項目に医療処置についての細かい記載が欲しいと言われた。
- ・入院の連絡を頂き、同時に提出を求められました。
- ・提出を求められた
- ・サマリーのみでは情報が不足するため、基本情報シート、アセスメントシート、居宅プランの提出を求められた。

(7) ケアマネサマリーを使って、入院時情報連携加算を算定したことはありますか。

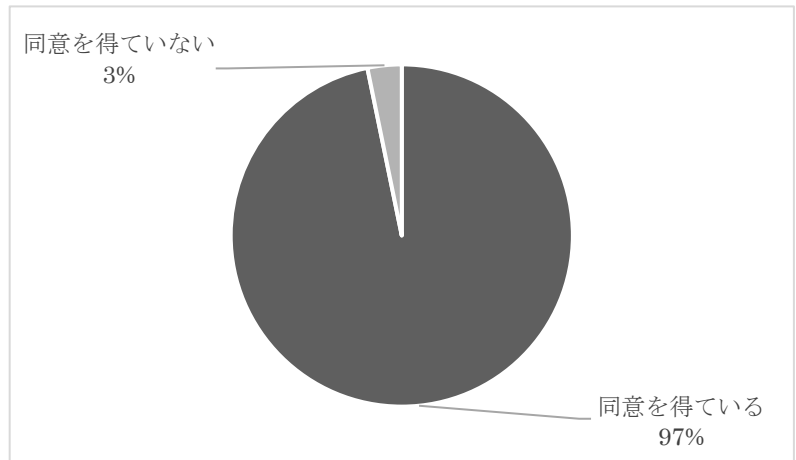
※ケアマネジャー連絡会に所属の方のみご回答ください

- 算定したことがある。・・・ 26
- 算定したことがない。・・・ 4



(8) ケアマネサマリーを使う際に、利用者本人・家族から同意を得ていますか

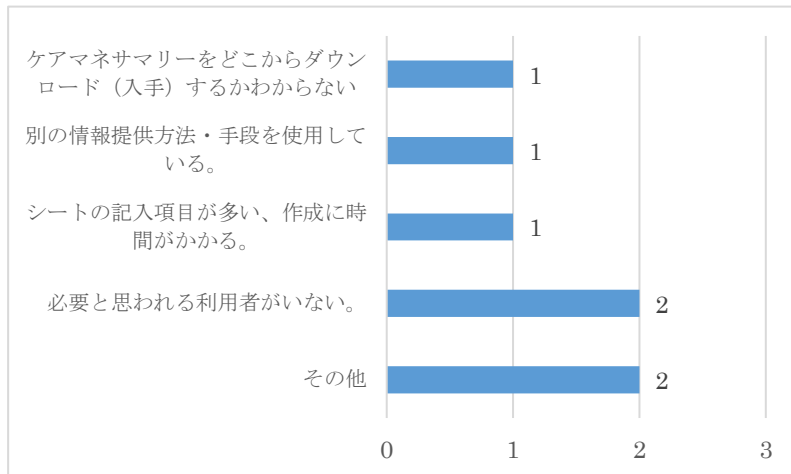
- 同意を得ている。・・・ 30
- 同意を得ていない。・・・ 1



③①にて「知っているが使っていない」を選択した方にお聞きします。

(1) 使っていないのはどのような理由からですか。(複数回答)

- ケアマネサマリーをどこからダウンロード(入手)するかわからない・・・ 1
- 別の情報提供方法・手段を使用している。・・・ 1
- シートの記入項目が多い、作成に時間がかかる。・・・ 1
- 必要と思われる利用者がいない。・・・ 2
- その他(選択肢にない場合は、理由を簡単にお書きください。)・・・ 2



ご意見 2 件

- ・今までの経験に基づき、退院時の情報共有を行っている。
- ・町田市外の医療機関を利用していることが多いため

(2) (1)にて「別の情報提供方法・手段を使用している。」と回答した方にお聞きします。

それは具体的にそのような内容ですか、書ける範囲で教えてください。(自由記入)

回答 1 件

- ・予防の基本情報シートと+アルファで必要な情報を適宜、使用

④ケアマネサマリーを普及させるには、どうしたらよいと思いますか(自由記入)

また、その他、ご意見等がございましたら、お書きください。

ご意見 2 4 件

- ・あまり普及していない場合は、書式も重要ですが、ケアマネサマリーがご利用者にとってとても有益なものであることを、ケアマネジャーらが理解する必要があると思います。医療機関でサマリー受け取った後の活用や役立った点を、簡単でも資料にして居宅介護支援事業所などへ配布するのもよいかもしれません。
- 書式については、受け取り側の医療機関等からの意見を聞き取ることも、効果的だと思います。



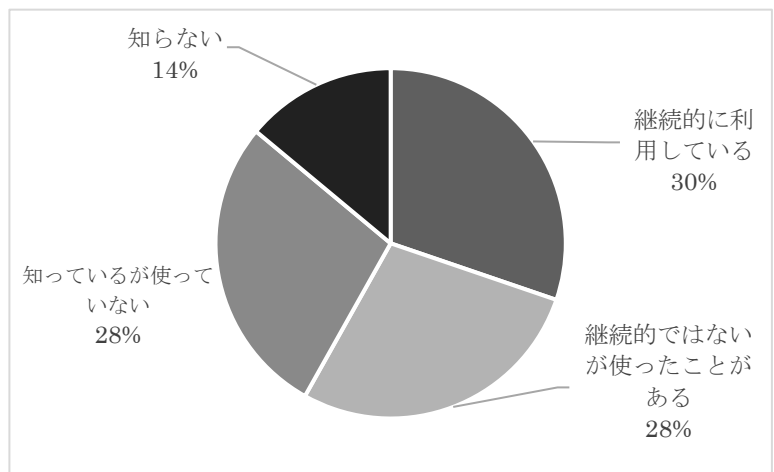
- ・アセスメントシートにつけて普段から見慣れておく
- ・医療側の認識を強化
- ・ケアマネさん達へのこまめな周知とあわせて医療機関へも周知をお願いしたい。
- ・ケアマネサマリーがないと病院からも問い合わせがある。
- ・病院側での周知が必要
- ・普及してると思っていた。
- ・簡単に転記できるような工夫
- ・病院側に周知してほしい。
- ・入力を簡略化する。
- ・市内病院の相談員への周知
- ・当施設では 業務効率を図るために施設で導入している記録ソフトをもちいています。ご提示のケアサマリーをもちいることは 施設の目的と相反しますので使用しないと思います。
- ・入力手間を少なくするためシステムに入っているシートを活用している
- ・他帳票との一体化
- ・病院は担当 CM の事業所 名前がわかればすぐに連絡をいただける 電話で問い合わせてください もっと簡素化しても良いのではないかと思います
- ・説明会の開催、ケアマネカフェ等で共有
- ・医療機関からくださいと言われることもあるので、医療機関からお声かけいただくと提出するのではないのでしょうか。
- ・定期的な周知。情報発信だけでなく、紙ベースで配布する機会を定期的、継続的に作る必要があります。実際に目にしないと、存在を意識できないケアマネジャーが多い。
- ・ある程度普及できているかと思いますが、普及できていない状況があれば共有して検討できるとよいと思います
- ・きゅうふサプリはどのケアマネもしっかり読み込むと思うので、定期的に掲載し周知を図ると良いと思う。また、入院時にケアマネサマリーを提出しても、退院時に全く連携してくれない医療機関もある為残念に思う。医療機関の連携に対する協力も必要だと思います。
- ・自分の周りでは十分に普及しているように見えます。
- ・ケアマネ連絡会で、年 1 回アナウンスする。他市から来た方など、知らないかもしれないので。
- ・病院に、周知してほしい。
- ・病院から求められることが多い。他市の病院からは問い合わせがないため、送って良いかどうか迷うことがある。

5. 「町田市退院調整シート」についてお聞きします。

在宅療養生活が必要な方の退院支援にあたって、在宅療養に必要な情報を漏れなく効率よく確認するために、退院カンファレンスや退院時の医療機関へのヒアリングの際にケアマネジャーが使うことを想定して必要な項目をまとめた様式です。

① 使用状況について教えてください。

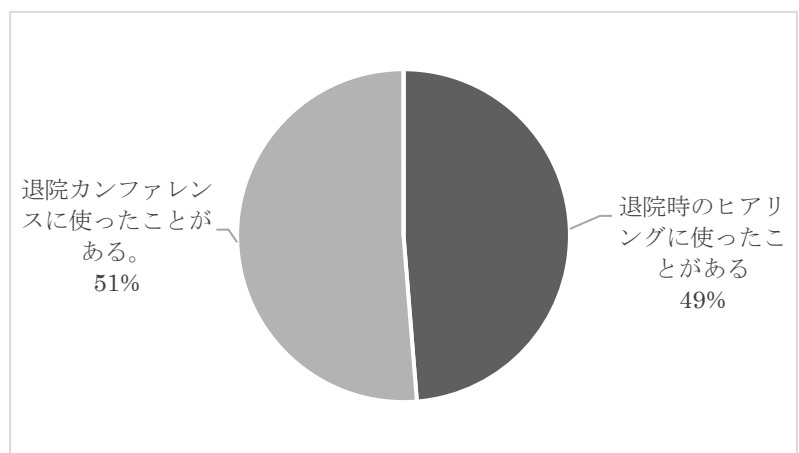
- 継続的に利用している・・・・・・・・・・ 13
- 継続的ではないが使ったことがある・・・・ 12
- 知っているが使ってない・・・・・・・・・・ 12
- 知らない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6



② 「継続的に利用している」もしくは「継続的ではないが使ったことがある」を選択した方にお聞きします。

(1) 使ったことがある方は、どのような時に使いましたか（複数回答）

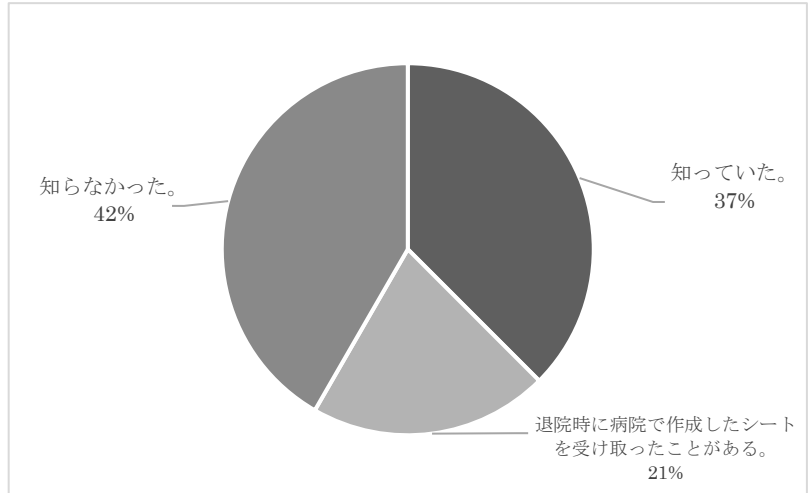
- 退院時のヒアリングに使ったことがある。・・・・・・・・・・ 19
- 退院カンファレンスに使ったことがある。・・・・・・・・・・ 20
- その他（選択肢にない場合は、理由を簡単にお書きください。）・・・・ 0



その他0件

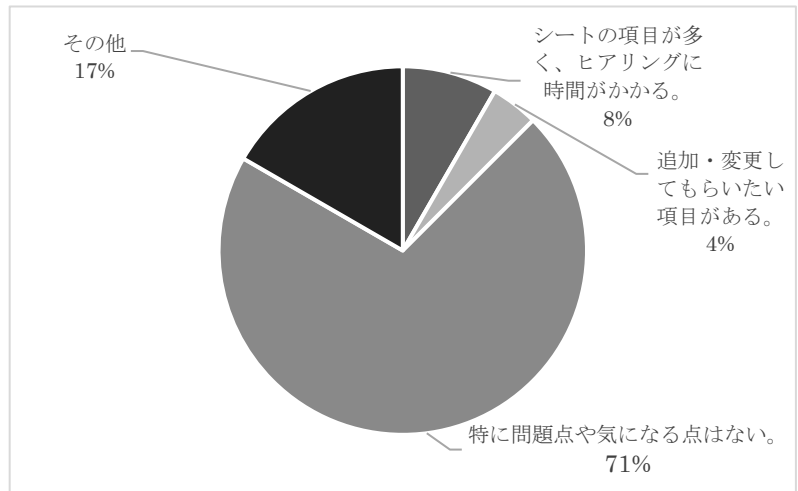
(2) 病院（市内に限る）は、シートについて知っていましたか。

- 知っていた。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 退院時に病院で作成したシートを受け取ったことがある。・・・ 5
- 知らなかった。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10



(3) 使用上の問題点・気になる点がありますか。（複数回答）

- シートの項目が多く、ヒアリングに時間がかかる。・・・・・・・・ 2
- 追加・変更してもらいたい項目がある。（4）にお書きください）・・・ 1
- 特に問題点や気になる点はない。・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- その他（選択肢にない場合は、どのようなことか内容をお書きください。）・・・ 4



ご意見4件

- ・記載項目は何れも必要な内容だと思いますが、全体的にもう少しシンプルにしたいです。
- ・記入慣れしていないせいか どこに何を書くのかわかりづらかった。また、記入欄が小さく書きづらかった。
- ・厚労省が出している様式例の方が、使いやすいという意見もあった。
- ・看護サマリーとして受け取ったことがある

(4) 使用上の改善点・要望はありますか（自由記入）

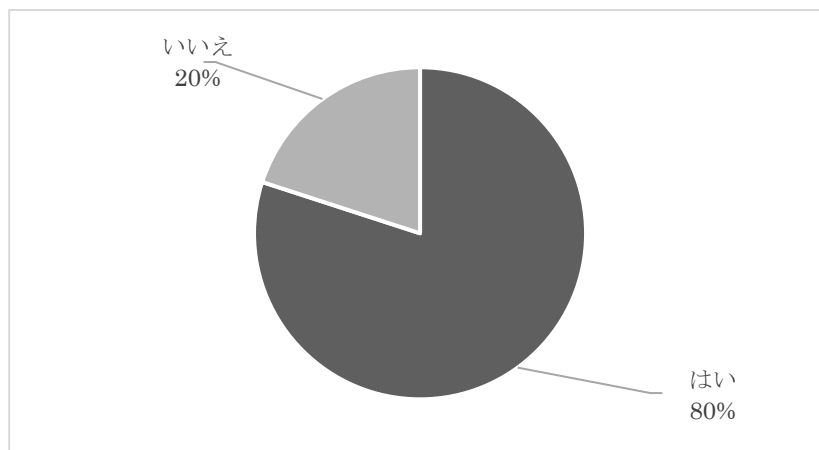
ご意見3件

- ・もう少し、枠が大きいほうが書きやすい
- ・ケースにより詳細に知りたい情報、注意する点、ポイントなどを記入する欄があるといいと思う。
- ・リアセスメント支援シート、ケアマネサマリーとデータを紐づけ、同じ情報の入力省力化ができるとうい

(5) 退院退所加算を算定する際に、シートを活用したことがありますか。

※ケアマネジャー連絡会に所属の方のみご回答ください

- はい・・・16
- いいえ・・・4



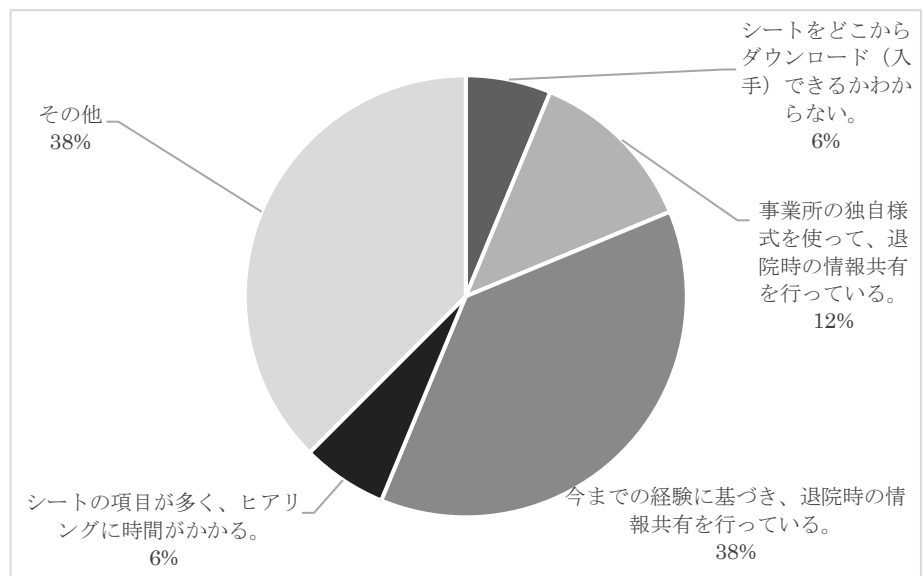
主な回答内容7件

- ・加算の法改正前は活用していました。現在は条件が厳しく、この加算自体を算定する機会がありません。
- ・活用したことがあります。以前のものに比べ、見やすく、使いやすくなりました。
- ・所属ケアマネジャー全員が、毎回使用しています。
- ・シートを加算の根拠としている
- ・退院退所加算を算定していない
- ・加算算定の際には必ず活用
- ・ある。ただし、事業所のソフトに記録を残す場合にはサービス担当者会議議事録の作成をしたほうが確実に記録が残る為、メモ程度の活用にとどまることが多い。

③①にて「知っているが使っていない」を選択した方にお聞きします。

(1) 使っていないのは、どのような理由からですか。(複数回答)

- シートをどこからダウンロード(入手)できるかわからない。・・・1
- 事業所の独自様式を使って、退院時の情報共有を行っている。・・・2
- 今までの経験に基づき、退院時の情報共有を行っている。・・・6
- シートの項目が多く、ヒアリングに時間がかかる。・・・1
- その他(選択肢にない場合は、理由を簡単にお書きください。)・・・6



ご意見12件

- ・コロナにより退院カンファがなかった。
- ・シートをどこからダウンロード(入手)できるかわからない
- ・今までの経験に基づき、退院時の情報共有を行っている
- ・事業所の独自様式を使って、退院時の情報共有を行っている
- ・今までの経験に基づき、退院時の情報共有を行っている
- ・事業所で統一されてない。自分のノートに書きこむ
- ・今までの経験に基づき、退院時の情報共有を行っている、シートの項目が多く、ヒアリングに時間がかかる、支援センターがききたい内容とずれている
- ・今までの経験に基づき、退院時の情報共有を行っている、今後、利用していきます。
- ・事業所の独自様式を使って、退院時の情報共有を行っている、今までの経験に基づき、退院時の情報共有を行っている
- ・町田市外の医療機関を使う方が多いため
- ・今までの経験に基づき、退院時の情報共有を行っている
- ・使用するケースがなかった

(2) (1) で「事業所の独自様式を使って、退院時の情報共有を行っている。」「今までの経験に基づき、退院時の情報共有を行っている。」と回答した方にお聞きします。

退院調整シートに記載されていない項目で確認していることはありますか、書ける範囲で教えてください。

#### ご意見7件

- ・アセスメントシートに記入している
- ・病状、入院中の24時間の様子、リハビリ記録、ADL、食事形態、気を付ける点、精神状態等
- ・ADL・在宅での注意事項
- ・看護サマリー、診療情報提供書にある内容
- ・通常のアセスメントに加え、①入院前との変化②自宅環境の問題点③退院後、家族の受けとめ
- ・事業所の基本情報シート・アセスメントシートを使用する方が慣れている。
- ・支援経過に入力し、共有を呼びかける。

④退院調整シートを普及させるには、どうしたらよいと思いますか（自由記入）

その他、ご意見等がございましたら、お書きください。

#### ご意見32件

- ・普及させるには、記載する側の意向をヒアリングするべきではないでしょうか。
- ・弊所の場合、町田市に限らず、様々な病院からの受け入れを行うので書式が統一されていることよりも、本人の状態が分かる事の方が重要なので、それほど書式にはこだわりはないです。
- ・退院時の情報と退院後の状態が大きく乖離していることが多い
- ・ケアマネ連絡会や地域ケア推進会議等で情報提供
- ・アセスメントと重複する内容も多いため、内容をスリム化(表面1枚以内)できるとより活用しやすくなると思います。
- ・シートを活用しても退院とならないご利用者もいますが、概ねの普及(活用)率が分かると、普及に向けてより具体的な検討ができると思います。
- ・アセスメントシートにつけて普段から見慣れておく。
- ・医療側の認識を深める。知らない病院も多い。市外だと特に感じる
- ・長く町田市で仕事をしているケアマネにとっては当たり前のことであっても市内のケアマネさん達も人の入れ替えはあると思われます。新人でなくても他市町村で仕事をしていたケアマネさんが町田で仕事を始める方もいると思われるのでこまめな周知が必要なのではないでしょうか。市内のケアマネさん方に周知をしたらやはりケアマネ連絡会の研修時にお知らせするのが一番なのでは。
- ・施設だと加算が関わってくる事もあるのでそれとリンクするものだと使用しやすい。
- ・各事業所内で周知徹底
- ・病院側にも広くシートの存在を知って欲しい
- ・ケアマネサマリーと同様に義務化する。
- ・転記する手間がはぶけるような工夫
- ・ケアマネサマリーと両面でセットにする。
- ・①ワークショップ、研修会 ②医療職からのヒアリング
- ・病院や医師からの情報提供の用紙として、まず使用してもらい共有していく。
- ・ケアマネは知っていると思うが、その他の職種の方は知らない方がほとんど。また、町田市民病院の相談員でさえ知らない方がいるので、町田市の取り組みであれば、最低限町田市民病院の相談員は知っていてほしい。
- ・現状施設独自に使用している聞き取り表を用いて状況確認を行っている。統一の書面をもちいることで業務効率UPや確認漏れのリスクが減らせるのであれば今後使用を検討

します。

- ・事業所で使用しているシステムに入っている関係情報シートを使用することが多い
- ・在宅環境視点の項目が増えると良いと思う。
- ・前述の通り。他帳票と一体化し、入力の手間を削減すること。同時に他帳票の使用率も向上する効果も見込める
- ・訪問看護事業所と併設であるため事業所の傾向として末期がんの方の退院が多い、調整もありとても忙しくなってしまう 事業所の受付表や支援経過に記入して調整。算定はしていない
- ・説明会の開催、相談員連絡会等で共有
- ・入院先の病院からの呼びかけ。
- ・ケアマネジャー連絡会での定期的な周知。年度初めに紙ベースで配布。介護人材開発センター主催のケアマネジャー向け研修で配布。
- ・すでにされていることですが、CM 連絡会等での周知や町プロ（サイトも含めて）の周知活動からはじめて、使用しての事例等を共有できるとさらにつかひやすくなるのではないでしょうか。
- ・給付サプリなどで利用について提案していくと良いと思う。
- ・ケアマネの使用するアセスメントシートが多岐にわたる為、メモ程度に聞き取りができるようなチェックシートのような現在の内容が良いと考えます。
- ・ケアマネ連絡会でも、毎年、アナウンスするとよい。退院退所加算をとるときにも、有効であるとアピールする。
- ・市内の病院だけでなく、近隣の比較のおおきな病院にも周知してほしい。
- ・病院にも周知していただきたい

**6番以降の質問は、ケアマネジャー連絡会、高齢者支援センター所属の皆様に対してお聞きします。**

**小規模多機能連絡会、リハビリテーション連絡会、高齢者福祉施設部会、グループホーム連絡会、有料老人ホーム連絡協議会に所属の皆様は5番で終了となります。**

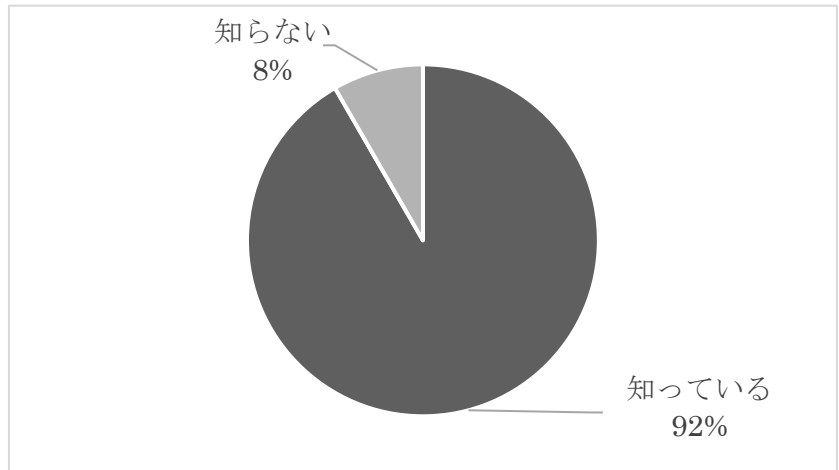
6. 「救急医療情報キット」についてお聞きします。

救急医療情報キットは救急時に救急隊が対象者の医療情報等を確認するために活用するキットです。2014 年度から、かかりつけ医または高齢者支援センターにて高齢者への配布を開始しました。在庫数が少なくなったことなどから、2023 年 2 月以降に部会を立ち上げ、キットの見直しを開始しました。



① キットについて知っていますか。

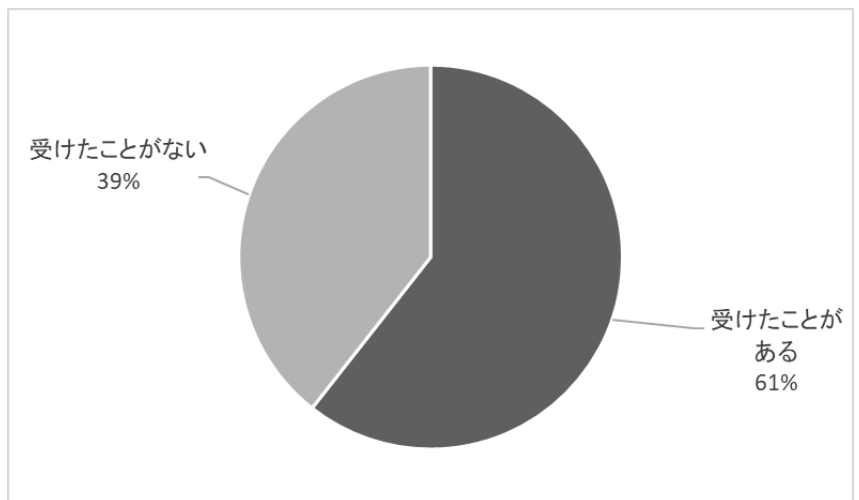
- 知っている・・・33
- 知らない・・・3



②①で「知っている」と回答した方へお聞きします。

(1) 利用者から「キットがほしい」との希望を受けたことがあるかどうか教えてください。

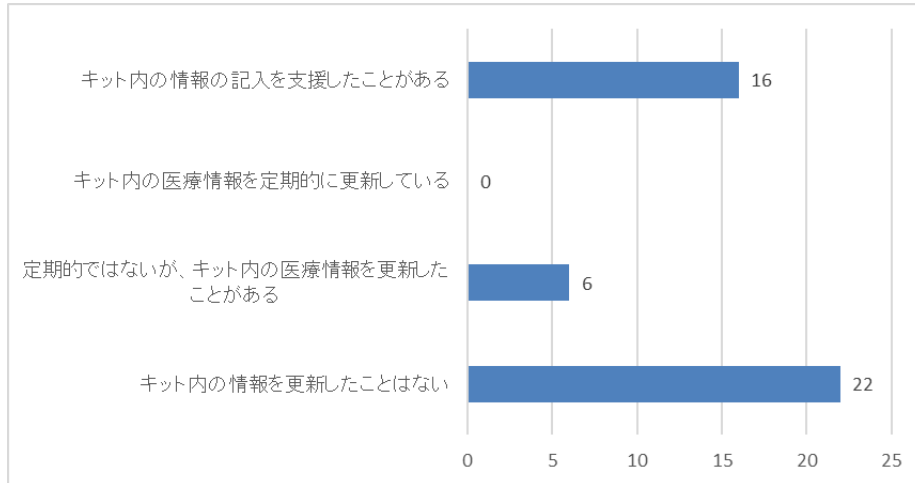
- 受けたことがある・・・20
- 受けたことがない・・・13





(2) キットの利用状況について教えてください。(複数回答)

- キット内の情報の記入を支援したことがある・・・ 16
- キット内の医療情報を定期的に更新している・・・ 0
- 定期的ではないが、キット内の医療情報を更新したことがある・・・ 6
- キット内の医療情報を更新したことはない・・・ 22



③救急医療キット内の情報について、記載した方がよい情報等、ご意見ございましたらご記入ください。

※現状キット内に記載されている情報

- 本人情報 (氏名、生年月日、性別、住所、あんしんキーホルダー番号、電話番号、血液型)
- 医療情報 (かかりつけ医院、科目・担当医名、病院の電話番号、かかっている病気)
- 緊急連絡先 (氏名、続柄、住所、電話番号)
- その他 (居宅介護支援事業所名、担当者名 (ケアマネジャー)、電話番号、救急隊に伝えたいこと)

ご意見 10 件

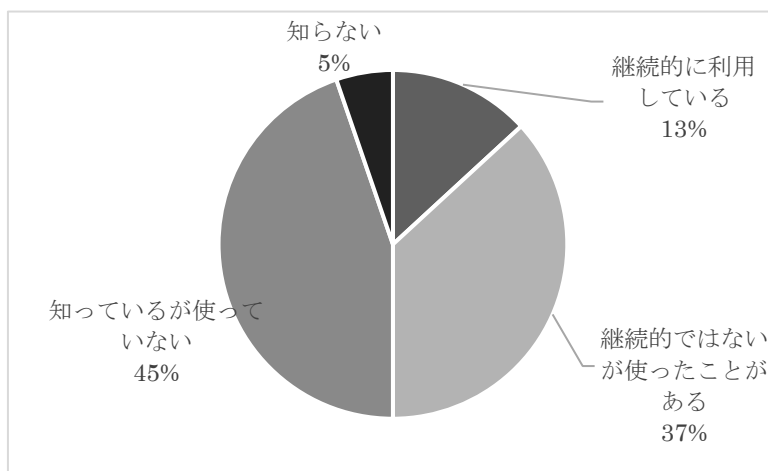
- ・延命治療について (基本は自筆、親族の同意欄などの必要はあると思いますが)
- ・DNAR など、自署で意思表示できるものがあるとよいと思います。例えば蘇生を要する状況にある時に、より本人の望む選択(一次、二次救急など搬送先含めて)に沿うことができるのではないのでしょうか。
- ・ケアマネが訪問し救急車を呼ぶ時は最新の情報書類を持参している。
- ・情報がいつ記載した物かがわかると良い
- ・薬情報
- ・ACP・生活意向などを追加するとよい (市民に考える機会を生む、家族に話す基盤ができる、万が一の時の代理意思決定の備えとなる、迅速かつ本人にとって適切な治療やケアを行うことができる等)
- ・利用中のサービスと事業所
- ・同居家族がいて日中独居の方にもお渡しすることもありますので家族構成があってもよいかと思えます。
- ・最近全く取り上げられていないため忘れていた。活用するのであれば市民向けに再周知する必要があると思う。
- ・救急キットの存在を忘れており、利用者が持っているかどうか確認していなかったため、確認して内容の更新をする必要があると思いました。

7. 「Dr.Link (町田版ケアマネタイム)」についてお聞きします。

Dr.Link は医師がケアマネジャーからの連絡や相談をスムーズに受けることができるように、あらかじめ医師が対応可能な曜日、時間帯、相談方法などをリスト化したものです。町田市では、2017年4月から市内全域で運用を開始しました。

① 使用状況について教えてください。

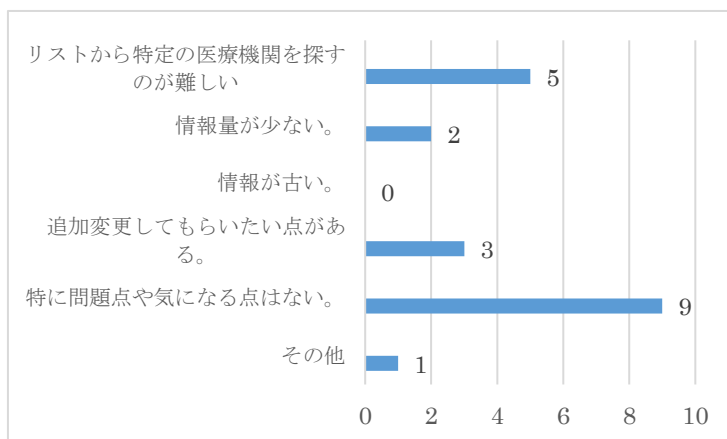
- 継続的に利用している・・・・・・・・・・ 3
- 継続的ではないが使ったことがある・・・14
- 知っているが使ってない・・・・・・・・・・ 17
- 知らない・・・・・・・・・・ 2



②①にて「継続的に利用している」もしくは「継続的ではないが使ったことがある」を選択した方にお聞きします。

(1) 使用上の問題点・気になる点がありますか。(複数回答)

- リストから特定の医療機関を探すのが難しい・・・・・・・・・・ 5
- 情報量が少ない・・・・・・・・・・ 2
- 情報が古い・・・・・・・・・・ 0
- 追加変更してもらいたい点がある。(②(2)にお書きください)・・・・・・・・ 3
- 特に問題点や気になる点はない・・・・・・・・・・ 9
- その他(選択肢にない場合は、どのようなことか内容を簡単にお書きください)・・・ 1



その他ご意見 0件

(2) 使用上の改善点・要望はありますか。

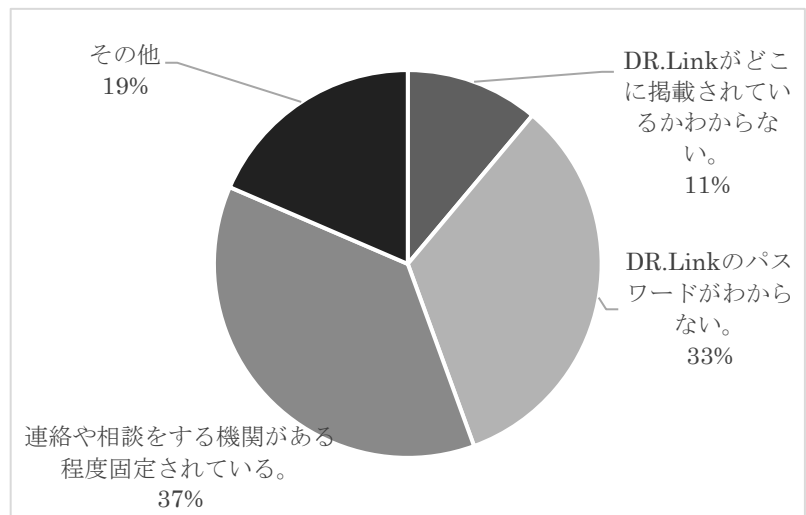
ご意見 5件

- ・記載内容と実際の状況に齟齬がみられることがあるため、連絡前に所内等で現況を確認することがある。備考やコメント欄を充実していただきたい。
- ・検索機能があると探しやすいと思います。
- ・Ctrl+F で検索していますが、皆様、事業所の検索はどのようにされてますでしょうか？Excel かスプレッドシートの方が検索しやすいかと思う時があります。
- ・①ひらがな漢字：カナ検索ができるようになっているとよい ②確実につながる時間ではないため、メールなどの方がお互いに効率が良い。 ③メール情報の充実を ④電話・FAX・メール以外の連携ツールの使用状況を掲載
- ・今までのリストは地区別に並んでいたと記憶しているのですが、探すのに時間がかかったため、あいうえお順に並べていただけると探しやすいと思います。また最近は使用していないのですが、パスワードが以前のままで良いのかかどうかわからない為、再度ケアマネ連絡会や会員向けのメールなどで周知していただきたいと思います。

③①にて「知っているが使っていない」を選択した方にお聞きします。

(1) 使ったことがないのは、どのような理由からですか。(複数回答)

- Dr.Link がどこに掲載されているかわからない。 . . . . . 3
- Dr.Link のパスワードがわからない。 . . . . . 9
- 連絡や相談をする機関がある程度固定されている。 . . . . . 15
- その他 (選択肢にない場合は、理由を簡単にお書きください。) . . . . . 5



その他回答 4件

- ・所属する法人の承認が必要のため
- ・メールやMCS、手紙で連絡をとる場合が多い
- ・ご利用者やご家族のご意向もあるため

・受付の方や MSW に問い合わせ、先生のご都合など聞いています。

④Dr.Link を普及させるには、どうしたらよいと思いますか（自由記入）

また、その他、ご意見等がございましたら、お書きください。

ご意見 24 件

- ・ mcs でつながっていると連携が図りやすい
- ・顔の見える関係も重要だが、オンラインツールを活用することで、よりタイムリーで実用的な連携がはかれると思います。
- ・利用者本人を中心としたチームを作るためのツールとして利用する。
- ・更新されているか、が大切か。ぱっと見れるなど。
- ・実際にご連絡を入れるときには開院されているときに受付の方にその日のご都合を伺って再度ご連絡を入れています。掲載されているご都合とは異なることもありその方法でのご連絡となっています。又、DR.Link を開いて調べる手間が面倒なこともあり直接ご都合を伺ってしまっているとといった面もあります。今までその方法で特に支障なく済んでいます。パスワードが変わっていくのも情報を押さえておく手間もありますので日々の業務の中では馴染んでいないのが現状です。
- ・医師に相談することへの敷居が高い。
- ・自分の時間と医師の時間が合わないことが多い。メール等のやり取りが出来るとありがたいと思う。
- ・MCI を利用するのはいかがでしょうか？
- ・①専用のアプリの開発 ②成功例などを SNS などで発信
- ・実際に使用している方の感想などが聞けると利用しやすいと思う
- ・地域の研修などでしっかりと周知してほしい
- ・登録医療機関の充実
- ・使い方について効果的な面などを周知いただくような講習会があると良いと思います。
- ・前述の通り。+本アンケートのような、課題抽出と改善の取り組みを定期的に行うこと。「連絡が付きやすい医院」「話が通じやすい医院」等、CM 視点の 5 段階評価を掲載（意識の上での垣根を低くする効果）
- ・それぞれの医院やクリニックの HP に掲載する。
- ・定期的な情報更新と、医療機関、介護関係者双方への定期的な周知
- ・作成した当初と現状はまた変わっているかと思います。現状に即した目的を再度確認し、その目的に応じた作成・更新・普及方法を検討してはどうかと感じます。
- ・普及させる必要はないのではないかと。一定の役割は果たしたと思います。先生方のご都合は、その時々で変わるので必要ない。情報の更新も大変なので、やめてもいいと、思います。
- ・医師にも、周知して頂けると有難い。

以上でアンケートは終了となります。

ご協力いただきありがとうございました。